

山形県地域密着型サービス外部評価結果報告書

＜認知症対応型共同生活介護用＞

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を实践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を实践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

※自己評価項目番号26 馴染みながらのサービス利用
自己評価項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援
については、小規模多機能型居宅介護事業所についてのみ記入

事業所番号	670101476
法人名	有限会社深町コーポレーション
事業所名	グループホームはなみずき
訪問調査日	平成 20 年 9 月 2 日
評価確定日	平成 20 年 11 月 5 日
評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族＝家族に限定しています。

運営者＝事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員＝管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム＝管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年10月29日

【評価実施概要】

事業所番号	670101476		
法人名	有限会社深町コーポレーション		
事業所名	グループホームはなみずき		
所在地 (電話番号)	山形県山形市深町一丁目9番14号 (電 話) 023-644-2777		
評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会		
所在地	山形県寒河江市大字寒河江字久保6番地		
訪問調査日	平成20年9月2日	評価確定日	平成20年11月5日

【情報提供票より】(平成20年8月1日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 15 年 11 月 28 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 18人, 非常勤 0人, 常勤換算	14.5人

(2)建物概要

建物形態	○併設／単独		○新築／改築
建物構造	木造 造り		
	西(一部 2階建ての1階部分) 南 (平屋建て)		

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	52,500 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷 金	有(円) ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	○ 有(120,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有／無○
食材料費	朝食	280 円	昼食 420 円
	夕食	400 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4)利用者の概要(8月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	6 名	女性	12 名
要介護1	5 名	要介護2	8 名		
要介護3	4 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82.9 歳	最低 73 歳	最高 95 歳		

(5)協力医療機関

協力医療機関名	前田クリニック、奥山内科胃腸科クリニック
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

その人らしい生活を念頭において、日々の決まりごとを優先することなく、中庭での体操、お茶のみ、将棋、歌、天気の良い日の散歩、季節の花見、ドライブ、弁当持参のピクニックなど、希望に添った気分転換を図っており、楽しく暮らせています。
また、食事や服薬など5項目を記入する個別表を用いながら、一人ひとり状態の変化にも気を配り、細やかなケアと安心して過ごせるホームを目指しています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 市町村との連携については、利用者の人数や状況、介護相談員の受け入れ準備などの情報交換を通して、市の担当者との連携を図っている。また、職員を育てるための取り組みとして、研修実施計画表に基づきながら、希望をとるようにしており、職員が段階に応じて研修を受ける機会を設けている。
	②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 各ユニットごとに毎日のミーティング時に少しずつ話し合い、介護リーダーが一つにまとめたものを管理者が見直しており、不備な点があった場合には職員がもう一度検討し直す取り組みが行われている。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は2ヶ月ごとに開催されており、活動状況報告や避難場所の検討・確認などについての意見交換が行われている。
重点項目	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 面会時に必ず声を掛け、気軽に話せる雰囲気作りに努めている。また、他の利用者の居室に入る方もいるため、希望者には鍵を取り付けるようにするといった具体的な取り組みがなされている。
重点項目	⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域自体が新興住宅地のため地域活動の交流が難しい面もあるが、町内の特別会員として、町内清掃や地震体験車への参加、子供神輿や盆踊りへの寄付、同じ敷地内にある障がい者デイサービスのバザーへの参加など、積極的な交流を進めることに努めている。

2. 評価結果(詳細)

(☐ 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	{明るく、笑顔で、元気良く}をモットーに、ほっとくつろげる居場所として安心でき、その人らしく生活できるよう、少人数による家庭的な環境で、人権と尊厳が守られる共同生活の支援と介護を目指しているが、地域密着型サービスとしての役割をも目指す視点や内容はまだ取り入れられていない。	○	地域密着型サービスの役割を考えながら、地域の中でその人らしい生活を支えていくことを目指した内容の理念の形成が期待される。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティングやケアプラン作成時に話し合いをしている。また、事務所やリビングにホームとして目指す視点を掲げ支援の基にしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域自体が新興住宅地のため地域活動の交流が難しい面もあるが、町内の特別会員として、町内清掃や地震体験車への参加、子供神輿や盆踊りへの寄付、同じ敷地内にある障がい者デイサービスのバザーへの参加など、積極的な交流を進めることに努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	各ユニットごとに毎日のミーティング時に少しずつ話し合い、介護リーダーが一つにまとめたものを管理者が見直しており、不備な点があった場合には職員がもう一度検討し直す取り組みが行われている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月ごとに開催されており、活動状況報告や避難場所の検討・確認などについての意見交換が行われている。		

山形県 グループホームはなみずき

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	利用者の人数や状況、介護相談員の受け入れ準備などの情報交換を通して、市の担当者との連携を図っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の暮らしぶりや健康状態は電話や面会時に随時報告し、金銭管理は毎月請求書を送付している。職員の異動は、運営推進会議の資料に盛り込み、随時家族に送付している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時に必ず声を掛け、気軽に話せる雰囲気作りに努めている。また、他の利用者の居室に入る方もいるため、希望者には鍵を取り付けるようにするといった具体的な取り組みがなされている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの職員による支援が受けられるように配置異動を行い、職員が交代する場合でも、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	体操を一緒に行うなど日頃より顔なじみの関係作りをしている。また、新職員には、職員をもう一人付けてダメージを防ぐ配慮をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修実施計画表に基づきながら、希望をとるようにしており、職員が段階に応じて研修を受ける機会を設けている。また、事業所内での毎月のミーティング時には、「認知症の理解」についての勉強会も開催している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県のグループホーム連絡協議会への参加や交換実習の実施、市のグループホームで構成される連絡会へ参加して、レクリエーションのやり方を再検討するなど、サービスの質の向上につなげている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○馴染みながらのサービス 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	お互いを尊重して支えあう関係ができており、共に生活するという意識をもって、調理や味つけ、盆栽の手入れといった場面で関わり合いを深めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	居室担当者を決めて、一人ひとりの想いをより把握できるようにしており、利用者の表情や言動から、本人の意向に添った暮らしの支援を心がけている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族の意見を聞き、要望を反映した介護計画を作成しており、趣味を楽しみたい方には、歌や習字を取り入れるようにしている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月ごとに評価を行っており、体重が増加したような場合は、体を動かすレクリエーションをより多く取り入れるなどの工夫が介護計画に見られる。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、 事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をして いる	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医 と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受け られるように支援している	入居時に説明し、本人や家族の希望のかかりつけ医に 職員が付き添い受診している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、でき るだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかり つけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有 している	「重度化・看取りに関する方針」があり、入居時に説明 をしている。また、状況変化に伴い本人や家族、かかり つけ医と話し合い、全員で方針の共有をする体制があ る。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言 葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをし ていない	人生の先輩として敬うような言葉かけや対応を心がけて おり、プライバシーの保護や個人情報の取り扱いにも 注意している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切に、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の予定を話し合いながら散歩や買い物など、本 人の希望に添って過ごせるようにしている。		

山形県 グループホームはなみずき

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	準備や食事、片付けを個々の力を活かしながら一緒に行っている。また、季節の食材を取り入れたり、外食や出前の機会も設けている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に添った、入浴の回数や時間帯にしており、入浴を拒む方には入浴時間帯や関わる職員を変えたりする配慮をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴や日々の様子も考慮して、玄関掃除、水かけ、洗濯たたみ、将棋、貼り絵など、個々の力を活かした役割や楽しみごとの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、季節の花見やドライブ、弁当持参のピクニック、中庭でのお茶飲みなど、天気や体調に合わせた外出支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら鍵をかけないで安全に過ごせるような工夫に取り組んでいる。	利用者の状態をさりげない声掛けや見守りの徹底、付き添っての外出といった工夫により、鍵をかけずに過ごしている。また、玄関にはチャイムも取り付けられている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	日中の災害発生を想定した総合訓練は年1回行われているが、夜間を想定した訓練、また、地域の人々の協力を得られるような日頃からの働きかけについては、まだ取り組まれていない。	○	昼・夜を問わず利用者が安全に避難できる訓練等の実施、また、運営推進会議や市町村との連携をさらに深め、地域の人々の協力がより得られるような日頃からの働きかけについての検討も期待される。

山形県 グループホームはなみずき

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量などを個別チェック表に記入して職員間でその情報を共有しており、個々に合わせた食形態や量に配慮した支援が行われている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	台所から居間を見渡せる、南側には天窓もある明るい空間となっており、天窓の光調節はおしゃれな布で行っている。また、季節の花を飾ったり、廊下には絵や水槽も置いて居心地のよい共有空間を作っている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ダンスや机、テレビ、写真など、本人の馴染みの物を持参してもらい居心地よく過ごせる居室となっている。		